

事務事業名	観光拠点施設等整備事業				担当	産業環境部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	83-8135		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成23年度～平成26年度）			
事業概要	<p>平成23年8月に荒町本通りに面する久保邸の所有者を含む関係者からの、建物の保存を前提に譲渡したい旨の申し出を受け、明治期の貴重な歴史的建造物が現存していることから、次に引き継ぐ資産として保存し、有効活用することとした。久保邸を新たな「観光まちづくりの拠点」と位置づけ、真岡観光の発信・誘客につながる施設としての整備を行う。</p> <p>施設概要：元日本銀行宇都宮代理店真岡出張所真岡支金庫、アトリエ跡石積土蔵、現居宅、中央なまこ壁土蔵、南なまこ壁土蔵、暖炉</p> <p>整備スケジュール：平成23年度 基本構想 平成24年度 基本設計、実施設計、土地の取得 平成25年度 基本設計、実施設計、改修工事、運営計画の策定 平成26年度 改修工事、外構工事、公の施設設置条例、指定管理者の指定。指定管理施設「久保記念観光文化交流館」として運営</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
27年度実績 年度協定の締結及び指定管理料の支払い。指定管理者への指導。 観光文化拠点施設として観光情報の発信及び定期的なイベントの開催。		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
28年度計画 年度協定の締結及び指定管理料の支払い。指定管理者への指導。 観光文化拠点施設として観光情報の発信及び定期的なイベントの開催。		ア 委託料	千円	7,986	7,509	13,105	15,324	26,206
		イ 会議を開催した数	回	26	69	75	74	75
		ウ 施設整備に要した費用	千円	52,927	64,945	230,997	0	0
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
久保記念観光文化交流館		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 久保邸の敷地面積	m2	1,591.03	1,591.03	1,591.03	1,591.03	1,591.03
		イ 久保邸の建物の数	棟	5	5	5	5	5
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
久保邸を取得し、観光まちづくりの拠点施設として整備し、観光の振興を図る。		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 観光に資する施設数	棟	5	5	5	5	5
		イ 観光に資する利活用計画数	棟	5	5	5	5	5
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
本市観光文化拠点施設として観光情報の発信を行うとともに、観光事業の推進と地域参加イベントを開催し、交流人口の増加による地域の活性化を図る。		名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
		ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,463,570	2,842,333	2,865,281	2,865,612	2,910,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	53,184	64,945	230,997	0	26,206	
	事業費計(A)	千円	53,184	64,945	230,997	0	26,206	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	450	1,000	2,000	0	
		人件費計(B)	千円	1,891	4,064	8,442	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	55,075	69,009	239,439	0	26,206	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成23年8月に久保邸の所有者を含む関係者から、建物の保存を前提に譲渡したい旨の申し出があったため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度に開始した事業である。 平成26年度（平成26年10月）に整備事業が終了し、観光文化拠点施設「久保記念観光文化交流館」として開館した。真岡市観光協会を指定管理者とし、事務所を配置した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	議会の建議要望や一般質問で、物産会館としての利用の要望がある。 商工会議所や観光協会などから、観光に資する具体的な利活用案が提案された。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光のまちづくりに資する施設であり、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光のまちづくりの拠点施設であり、市が行う事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 観光まちづくりの拠点施設の整備であり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 成果をあげるべく事業を進めているところであり、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 観光まちづくりの拠点施設であるため
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似する施設、事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 決められた予算で適切に運営しているものであり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 久保邸の取得及び施設整備の構想策定に係る人件費であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光まちづくりの拠点施設の整備であり、特定の受益者に対する事業ではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 観光拠点施設として整備完了に伴う廃止	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							